

とみや議会だより

第26号



感染症予防事業P 3
第4回定例会P 4
一般質問P 7
委員会活動P15

▲富谷から望む泉ヶ岳

2023年(令和5年) 2月1日発行

発行責任者/富谷市議会議長
編集/議会広報調査特別委員会

〒981-3392
宮城県富谷市富谷坂松田30番地
Tel.022-358-0622



～誰もが見やすく読みやすい市議会だよりを目指して～

UD FONT
by MORISAWA

ユニバーサルデザインフォント
を使用しています。



あけまして
おめでとうございます

本年もよろしく願い申し上げます



写真撮影時のみマスクを外しています

年頭のごあいさつ

新年あけましておめでとうございます。市民の皆さまにおかれましては、令和5年の新年を健やかに迎えのこととお慶び申し上げます。また、日頃から、本市議会及び市政に対し格段のご理解とご協力を賜り、厚く御礼申し上げます。

昨年を振り返りますと、東北初となります不登校特例校「富谷市立富谷中学校西成田教室」が、希望豊かな学び舎として4月に開設し、本市が子どもにやさしいまちとして、全国に発信された年となりました。また、2年越しとなります「七ツ森ハーフトラソン大会」や「街道まつり」が、新型コロナウイルス感染症対策を十分に行いながら無事開催されましたことは、ウィズコロナ時代の事業展開として、大変意義深いものであったと捉えております。

新型コロナウイルス感染症は、新たな変異株等の不安が消えない状況が続いており、市民の皆さまには、昨年に引き続き感染対策に積極的に取り組まれ、ご努力をいただいておりますことに、感謝を申し上げますとともに、一日も早く収束されますことを切に願っております。

本年の干支は「卯」です。「卯」は、その跳躍する姿から「飛躍」、「向上」を象徴するものとして親しまれてきたと言われております。

私も市議会といたしまして、本市の更なる「飛躍」、そして市民の皆さまの生活の安定のため、活発な議論を重ね、慎重かつ的確な判断を行い、その職責を果たして参る所存でありますので、変わらぬご支援ご協力を賜りますようお願いいたします。結びに、皆さまのご健勝とご多幸をご祈念申し上げます、新年のご挨拶といたします。

富谷市議会 議長

青柳信義

感染症予防事業

令和4年度
一般会計補正予算(第9号)

インフルエンザワクチン接種費用の助成【市の独自事業】

生後6カ月～中学3年生への接種費用を一部助成します。

新型コロナウイルス感染症と季節性インフルエンザの同時流行が懸念されています。また、接種費用が子育て世帯の経済的負担となり、接種を控えることも憂慮されます。このようなことから、緊急的な措置として、生後6カ月の乳児から中学3年生までのインフルエンザ予防接種費用の一部を助成します。

- 事業費 1,946万円（財源：市の一般財源で充当）
- 対象者数 生後6カ月から13歳未満 6,057人
中学生（平成19年度生まれの中学生まで）2,104人
- 接種期間 令和4年10月1日～令和5年3月20日
- 助成額 1回の接種につき、上限1,500円助成
※13歳未満で2回接種の場合は、2回分助成
- 助成方法 医療機関にて接種費用支払後に、市に申請して助成を受ける償還払い方式
- 申請期限 令和5年3月20日

問 とみや子育て支援センター ☎343-5528

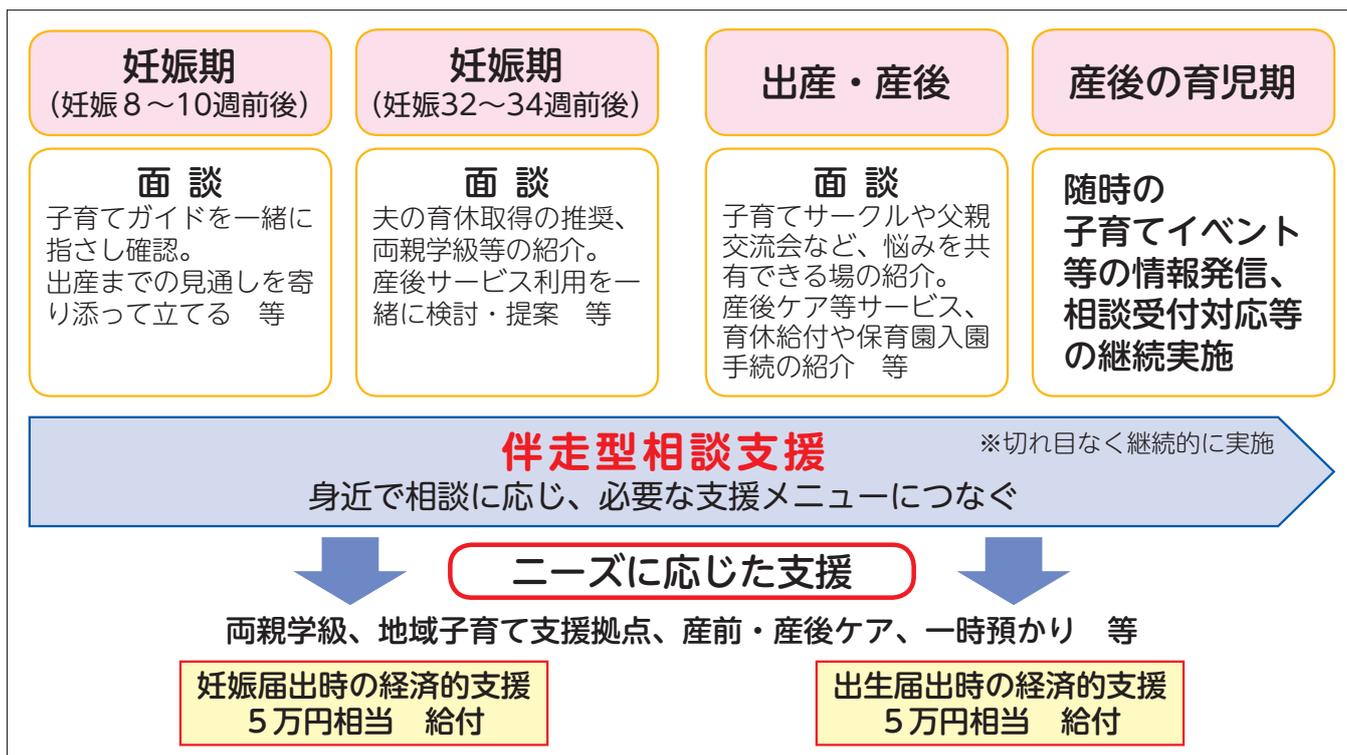
出産・子育て応援事業

令和4年度
一般会計補正予算(第9号)

国が推進する新規事業で、妊娠期から出産・子育てまで一貫して身近で相談に応じ、必要な支援につなぐ伴走型の相談支援の充実と経済的支援を一体的に行います。経済的支援は、妊娠時と出産時にそれぞれ5万円、計10万円を給付します。

- 事業費 4,281万円（財源：国2/3 県1/6 市1/6）
- 事業開始時期 実施体制が整い次第、事業開始
※令和4年4月1日以降、事業開始前に出産した方には、遡及して一括10万円支給

出産・子育て応援事業概要



問 とみや子育て支援センター ☎343-5528

令和4年第4回定例会 一般会計補正予算

令和4年第4回定例会は、11月30日から12月9日までの10日間の会期で開かれました。

令和4年度一般会計補正予算は、4億4874万円を追加し、歳入歳出の予算総額を182億1778万円とするものです。

歳出の主なものは、中学3年生までの季節性インフルエンザワクチン接種費用の一部助成、出産・子育て応援事業、芸術・文化活動団体支援事業などです。

そのほか条例の改正、人事案件など、全ての議案を原案どおり可決しました。

一般質問は、14人の議員から市政を問う28件の質問がなされ、活発な議論が繰り広げられました。

テレワークセンター整備

問 令和5年度オープンするテレワークセンターへの企業誘致の状況は。

答 十数社と協議中であり、その中で確度の高い返事をいただいているところが数社あるという状況です。

建設と同時に入居いただけるよう、民間のセミナーやイベントを通して誘致活動をしています。

あけの平小学校エレベーター工事

問 あけの平小学校のエレベーターの主な用途、更新工事のスケジュールは。

答 用途は給食の運搬、階段を利用できない児童の移動に使用しています。工期は、令和5年度の夏季休業期間を予定しています。

マーチングバンド

問 マーチングバンド全国大会出場補助金273



万円の積算根拠は。出場50人までは1人につき2万円、51人目からは1人1万円となります。とみやマーチングエコーズ145人、富ヶ丘小学校が39人ですので、計273万円です。

コロナワクチン

問 イオン富合で行われている集団コロナワクチン接種の状況は。当日の予約も可能ですか。

答 現在、予約は埋まっている状況ですが、当日の接種はキャンセル発生等があれば可能です。

問 接種率については。

答 オミクロン株対応ワ

クチン接種率は、直近で23.6%です。

問 副反応の支援体制は。

答 健康被害の相談は随時受け付けており、申請があれば審査会にかけ国に進達します。

インフルエンザ予防接種費用一部助成

問 事業概要は。

答 生後6カ月から中学3年生までを対象に、インフルエンザ予防接種費用の一部助成を実施するものです。

助成対象の接種期間は、令和4年10月1日から令和5年3月20日までです。13歳未満の児童は2回分

出産・子育て応援事業

問 事業目的は。

答 妊娠から子育て期までの伴走型相談支援の充実とともに、新たな経済的支援を一体的に行うものです。

問 経済的支援の内容は。

答 妊娠届出以降に5万円、出生届出以降に5万円を支給します。令和4年4月以降、当事業開始前に出産された方には一括で10万円支給します。

●●●主なつかいみち●●●

○出産・子育て応援事業 4,281万円

国が推進する出産・子育て支援として、伴走型相談支援の充実とともに、新たな経済的支援を一体的に行う。

○感染症予防事業 1,946万円

新型コロナとインフルエンザの同時流行が懸念され、緊急的な措置として生後6カ月から中学3年生までのインフルエンザワクチンの接種費用の一部助成。

○芸術・文化活動団体等支援事業 273万円

第50回マーチングバンド全国大会に出場する「とみやマーチングエコーズ」および「富ヶ丘小学校金管バンド」の2団体に、補助金を交付。

○市道穀田三ノ関線道路改良事業 8,190万円

市道穀田三ノ関線整備のため、事業用地等の購入と物件補償。

○市道穀田線道路改良事業 2,310万円

本路線の未改良部分の進捗を図るため、用地測量設計および物件補償の算定。

令和4年第3回臨時会

●●●主なつかいみち●●●

○電力・ガス・食料品等価格高騰緊急支援給付金給付事業 1億6,450万円

○原油価格高騰緊急対策 1億4,196万円

○町内会館整備事業 205万円

令和4年第3回臨時会が11月1日に開かれました。一般会計において、原油価格等高騰のため、全ての世帯に対し本市独自の燃料費助成、非課税世帯へのさらなる経済的支援など、3億851万円を補正予算に計上しました。

原油価格高騰緊急対策

「原油価格高騰緊急対策事業」1億4196万円や、住民税非課税世帯等へ給付金を支給する「電力・ガス・食料品等価格高騰緊急支援給付金給付事業」1億6450万円、明石台第八会館新築工事に伴う実施設計業務等205万円などを審議し、原案のとおり可決しました。

問 事業概要は。
答 灯油、ガソリンおよび軽油の購入に使用できる6000円の助成券を、全世帯主へ交付するものです。

問 助成券の発送や利用期間は。
答 発送は12月上旬を、利用期間は令和4年12月中旬から令和5年3月中旬までを想定しています。

問 助成券の取り扱い事業者は。
答 市内の13店舗を予定しています。



明石台第八会館整備

問 工事スケジュールは。
答 令和5年中の完成を目指しています。可決され次第、設計業務に着手していきます。

建設関連経費は、令和5年の第1回定例会で補正予算を上程する予定です。

第3回臨時会(11/1)・第4回定例会(11/30~12/9) 議案採決結果一覧

	議案	賛成	反対	議決結果	佐藤	菊池	村上	塩田	渡邊	藤原	畑山	金子	浅野	若生	長谷川	高橋	菅原	出川	安住	渡邊	浅野	青柳	提案者	
					浩崇	美穂	治	智明	清美	峻	和晴	透	武志	英俊	る美	正俊	福治	博一	稔幸	俊一	直子	信義		
第3回臨時会	令和4年度富谷市一般会計補正予算(第7号)	17	0	原案可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	市長提案
第4回定例会	職員の給与に関する条例の一部改正について	17	0	原案可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	市長提案
	議会議員の議員報酬、費用弁償及び期末手当に関する条例の一部改正について	17	0	原案可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	
	特別職の職員で常勤のもの給与及び旅費に関する条例の一部改正について	17	0	原案可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	
	富谷市一般職の任期付職員の採用等に関する条例の一部改正について	17	0	原案可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	
	富谷市子ども・子育て会議条例の一部改正について	17	0	原案可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	
	令和4年度富谷市一般会計補正予算(第8号)	17	0	原案可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	
	令和4年度富谷市市営墓地特別会計補正予算(第1号)	17	0	原案可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	
	令和4年度富谷市国民健康保険特別会計補正予算(第3号)	17	0	原案可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	
	令和4年度富谷市介護保険特別会計補正予算(第3号)	17	0	原案可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	
	令和4年度富谷市下水道事業会計補正予算(第3号)	17	0	原案可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	
	令和4年度富谷市水道事業会計補正予算(第2号)	17	0	原案可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	
	町の区域を変更することについて	17	0	原案可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	
	富谷市道路の認定について	17	0	原案可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	
	和解及び損害賠償額の決定について	17	0	原案可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	
	教育委員会委員の任命につき同意を求めることについて	17	0	原案同意	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	
	令和4年度富谷市一般会計補正予算(第9号)	17	0	原案可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	
土地の取得の変更について	17	0	原案可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○		
令和3~5年度(仮称)やすらぎパークとみや整備工事請負契約の変更について	17	0	原案可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○		
学校給食費の無償化を求める意見書	17	0	原案可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	議員提案	

○賛成 ×反対
 ※議長(青柳信義)は採決に加わりません。

議案審査

一般質問

委員会活動

市政を問う

一般質問

第4回定例会では14人の議員が質問に立ちました。各議員が行った一般質問の概要を8ページから14ページまで発言順に掲載しています。

文章については、議員自ら作成していますので、原則として原文のまま掲載しています。

なお、一般質問についての詳細は議員にお尋ねください。

8P 菅原 福治 議員

- マイナンバーカード取得促進は全庁挙げて

8P 菊池 美穂 議員

- 金融リテラシー教育を問う
- 郷土愛を育む教育を問う

9P 出川 博一 議員

- とみやど事業と運営について
- 複合施設整備に係る補助金は

9P 浅野 直子 議員

- 健康対策について
- 中間層世代への生活支援について
- 交通安全対策について

10P 渡邊 俊一 議員

- インフルエンザ予防接種費の助成を求める

10P 金子 透 議員

- しんまちの活性化次なる施策は

11P 佐藤 浩崇 議員

- 県が進めている4病院再編構想について

11P 長谷川 る美 議員

- 外出支援乗車証「とみぱす」について
- 不登校対策について

12P 畑山 和晴 議員

- 成田東公園に大型遊具・その他の遊具設置を
- 図書館分館の方向性は

12P 渡邊 清美 議員

- 予防接種に対する助成を問う
- 安心してあずけられる放課後児童クラブを問う
- 市道維持、管理を問う

13P 若生 英俊 議員

- 市長公約の地下鉄整備構想の断念を求める
- とみぐら・富谷塾、とみやど、病院誘致にかかる市政運営を問う

13P 藤原 峻 議員

- 図書館建設について
- 道路照明、案内看板の安全対策は
- 県立精神医療センター移転について

14P 安住 稔幸 議員

- 学校給食費の無償化について
- 更なる子育て支援について
- LGBT等のセクシュアル・マイノリティへの配慮した対応について

14P 塩田 智明 議員

- 市長2期目の実績と今後は
- 市民図書館等複合施設整備を問う

このページでは議員が提出した一般質問通告書のとおり掲載しており、次ページ以降の見出しと異なる場合があります。

問 マイナカードの取得は全庁挙げて

答 担当課のみならず全庁で

マイナンバーカードの目的は、デジタル社会に伴う手続きの効率化と本人確認等の利便性です。具体的には、健康保険証を廃止し「マイナ保険証」に切り替える等、さらには、マイナンバーカードと運転免許証の一体化についても検討しています。しかしながら、現在本市の交付率は、まだ54%と厳しく、ここは、全庁挙げて取組む必要があります。

民を「待つ」方法ではなく、市民の処に徹底して、「出向く」ことです。そのためには、訪問先の会社名、施設名等の目標を決めて取組むことと、さらには、どうしても市役所に行けない高齢者等へ、マイナンバーカード取得専用車を導入することで、徹底して高齢者宅を回り、市は、ここまでやるのかといわれるくらいの、個別の対応が必要です。その観点から質問します。

今後のポイントは、市民を「待つ」方法ではなく、市民の処に徹底して、「出向く」ことです。そのためには、訪問先の会社名、施設名等の目標を決めて取組むことと、さらには、どうしても市役所に行けない高齢者等へ、マイナンバーカード取得専用車を導入することで、徹底して高齢者宅を回り、市は、ここまでやるのかといわれるくらいの、個別の対応が必要です。その観点から質問します。

問 マイナカードは社会の必須アイテムです。市は責任を持って、全庁挙げて取り組むことが、完全取得のポイントだと思いますが。

答 まずは、市職員の申請率は約9割近くに達しており、引き続き、全職員取得に努めます。

さらに、担当課のみならず、全庁挙げて普及促進に取り組みます。



菅原 福治 議員

問 郷土愛を育む教育の重要性を問う

答 非常に重要、大きな意義持つと認識

子供たちが夢や志を持ち生きたるためには心身を支える基盤が必要です。郷土の歴史や伝統、文化を尊重し、郷土愛を育む事は人間形成の根幹をなす重要な教育と考えます。

答 地域学習デジタルコンテンツを開発しタブレットを活用した新たな

ICT教材とし、全小中学校で共有できるアーカイブ化を図ります。

問 地域資源、人材、企業との連携について。

答 今後、地域で活躍する実践者をさらに積極的に招聘する等、具体的な取組を構造的に進めます。

現代社会では一人一人がより自立的で安心かつ豊かな生活を実現するため、生活スキルとして金融リテラシーを身につける必要があります。人生設計を立てる上で重要な金融知識を、高校の授業での拡充に併せ、小中学生から少しずつ覚えていくことが大切です。

問 探求型の学習につながる、社会科副読本のデジタル化について。

問 増加する金融ネットトラブル防止を

答 全中学生対象の学びを追加します

問 金融リテラシー教育の重要性の認識、小中学生への教育の必要性は。

答 特に新学習指導要領では今後さらに重視すべき分野として位置づけられ、金融リテラシーを小

学校から段階的に習得することは、多様化する社会を生き抜くため不可欠であると認識しています。

問 外部の専門家活用を。

答 今後、金融広報委員会の派遣を活用します。

問 近年は詐欺も巧妙で、自身で身を守らなければなりません。増加する金融ネットトラブルの予防等、時代に合わせた教育が必要では。

▲ 社会科副読本（現在）



菊池 美穂 議員

問 提案理由が変更 議決が必要では

答 冬場対策としての事業を進める

令和4年5月20日付け

明がありました。

問 補正予算(第1号)

「マルシエ屋根設置工事はコロナウイルス感染対策として飲食時の3密回避を図るとともに、雨天や冬季対策として景観に配慮した恒久的な対策が必要と考え、その費用を計上しています。」と提案理由を説明しています。虚偽の説明ではないのですか。

答 公告したプロポーザル

10月21日開催の議員全員協議会の場で、「本件の設置場所をマルシエ広場からイベントステージ前に変更したい」旨の説

問 議案の説明の根拠が

崩れたら、議案としての説明が必要です。それをしないで容認することは、議会の存在意義をないがしろにするもので、議会の存在意義が試されている。本件は、議決すべき事項だと思えますが。

答 冬場対策ということ

「とみやど」への集客に結びつけるのが大きな目的で、趣旨的には大きく変わるものではありません。休業期間等当初から見込むべきだったと、深く反省しています。

問 公告第102号の内

容は、結果としては事実と違う。訂正の必要があると思います。

答 公告の変更ではなく

市民の方々に事業内容が変わったとお示ししたい。



出川 博一 議員

問 市民の健康意識と健診受診率は

答 健康意識アンケート調査をします

以前のような日常を取り戻すことはできません

問 带状疱疹ワクチンの

助成は行うべきであり、アクティブシニアの方々は会社を休まなくてはならない状況にもなるため、見解は。

答 切実に、必要性は認

識しているところです。

問 高校生の定期代等の支援は

答 公共交通利用促進へ研究します

一番お金のかかる中間層世代へ、高校入学時の

答 一律の助成ではなく

一部支援、冬季の自転車通学は路面凍結などで危険を伴う。定期代等の交

問 高校生の交通

通支援は必要です。

問 大清水団地通学路の

交通量対策は

その他の問

答 削減に努力します



また、国へ定期接種になるよう働きかけています。

問 子宮頸がん9価ワク

チンの令和5年4月より定期接種周知と有効性は。

答 市のホームページ、

公式LINE、広報等で周知していきます。



浅野 直子 議員



問 インフルエンザ予防接種に助成を

答 中学生までの接種の助成を進める

インフルエンザの感染

は2020年と21年において、極めて低水準でありましたが、今季は新型コロナウイルス感染と同時流行が懸念されておりと言われております。

同時感染すると重症化や、死亡率が高まるとの研究報告もあります。

今日の、新型コロナウイルス感染症の影響の長期化や、ロシアのウクライナ侵略などによる物価高騰などで、住民の生活は厳しさを増しておる現状であります。

若生市長も、このよう

な現状の認識のもと、コ

ロナ対策や、住民生活の安定のため、速やかに、

あらゆる対策、施策を展開されて来られてきた事

に対し、市民の一人としても感謝を申し上げます。

でもありますが、なお一層の市民への生活の安定、

福祉の向上、子育て支援の拡充を目指す必要があります。

問 そこで生後6カ月か

らの全ての市民に対し、インフルエンザワクチン接種費用の助成を求め質問いたします。

答 令和2年度は生後6

カ月から65歳未満の全市民、延べ対象者、4万6284人、助成率70%、金額1500円を乗じた額は4860万円、これに



渡邊 俊一 議員

65歳以上の高齢者の助成を加えた合計、8170万円が必要な予算となります。

負担については、ご意見のとおりだと思っております。

また、コロナが任意接種になった場合は、さらに負担が増すことは想定

されますので、その場合は、市として、しっかりと支援体制を取らなければいけないと認識しているところでございます。

議員のご意見のとおり、特に、子供たちの感染のリスクが高いという

ことで、中学までの接種の助成を、追加提案の中で、進めます。

問 しんまちの活性化、次なる施策は

答 アイデアを出し合い取り組みます

しんまち地区には「T

OMI+」、「とみやど」の2つの拠点が整備され、

昭和時代の賑わいを取り戻したかのように感じます。しかし、最近の「と

みやど」は来訪者の減少傾向がみられます。間もなく屋外ステージ前に全天候型の建物を整備し来

訪者数の回復、増加を目指すとのことですが、これで万全とは思えません。

2つの拠点が整備され、点から線となりました。今後は、線から面となる

ようなさらには周遊性を考察した施設整備は必要と考えます。

問 「とみやど」を含めた現在のしんまち地区の状況の認識は。

答 しんまち地区は、かつて奥州街道の宿場町として栄えた富谷発展の原

点の地であり、歴史的、文化的に大変重要な地区

です。街道まっりの開催や「とみやど」の整備などに取り組みました。その

成果として市内外から多くの方が訪れ、新たな人の流れが生まれまし

た。時に「とみやど」は年間来場目標10万人をオープン5カ月で達成し、

本市の観光と交流の拠点として非常に大きな成果を上げたと認識しています。

すべきでは。

答 富ヶ岡公園と連携した自然公園の整備については、多額の費用が想定

されることから、引き続き関係機関、民間事業者等とも情報を共有しながら調査、研究します。

問 本市の弱点である観光分野の今後の取り組み

は。
答 「とみやど」への集客に向けて指定管理者と連携を図り強化します。

また、現在、復活と商品化に向けて取り組んでいる富谷茶と連携した誘客、

地域の歴史、文化、食、人々など地域の資源と丁寧に向きあい、アイデア

を出し合う事が重要であると考えます。



金子 透 議員



▲ 富ヶ岡公園

問 富ヶ岡公園から清水仲への農地等を取得して、自然公園等整備の検討を

問 病院再編における効果や見通しは

答 広域的な医療体制強化が図られる

問 東北労災病院と県立精神医療センターが本市へ移転した場合の効果は。

答 黒川圏域における医療体制の喫緊の課題である、将来的な人口増や高齢化の進展による医療需要の増に伴う急性期医療病床数の不足解消が図られることや、黒川圏域に災害拠点病院が整備されることで広域的な応援体制の観点からもバランスの取れた配置となることと考えられます。



また、県立精神医療セ

ンターに関しては、県内の精神科医療の基幹病院

として急速な変化が見込まれる、身体症状を伴う患者への対応力向上を含め、県中心部である本市への移転に伴い、全県をカバーする精神医療体制の強化が図られることなどが考えられます。

問 病院再編に関して、市にはどのような声が届いていますか。

答 唯一、お一人の方から県立精神医療センターの名取市以外への移転による懸念についてのお手紙を頂きましたが、それ以外の市民の方々からいただいた声は全て急性期を担う総合病院の本市への移転を期待するものであり、市民ニーズとしては非常に高いものと分析しています。



佐藤 浩崇 議員

問 移転先候補地における通院・通勤の利便性向上が必要と考えますが。

答 宮城交通に対し、総合病院への直行便の新設や増便について要望していくとともに、本市においても、市民バスを病院まで延長することや泉中央駅と病院をつなぐシャトルバスの運行支援を行いたいと考えています。さらに、現在調査を進めている泉中央駅から明石台地区までの地下鉄整備について、総合病院の移転も考慮して事業化に向けた検討を推進するとともに、都市計画道路宮沢根白石線の未整備区間の整備促進についても、引き続き、県への要望活動を強化していきます。

問 外出支援「とみぱす」について

答 全体を調整し制度設計を行います

「とみぱす」の制度が、高齢者や障がいのある方の健康保持や、社会参画を推進し、持続可能な制度となるため以下質問します。

問 各出張所での入金受付の時期は。

答 令和5年度を目標に制度設計を進めています。

問 宮城交通バス乗車の際、障がい者手帳提示に關し改善の方策は。

答 ミライROIDというスマートフォン向けの障がい者アプリができ、一

助にはなると思います。

問 2万円の助成額を、増額も含め持続可能な制度とするための検討は。

答 限られた財源を有効に活用し、円滑な運用を図るため慎重な検討が必要です。

問 最近の物価高を考慮し、自己負担ゼロや低所

得者への制度の見直しは。

答 他自治体事例を参考に今後の課題とします。

問 公共交通空白地域の交付率向上のため、市民への乗り継ぎ等の周知は。

答 デマンド型交通と宮城交通の施策を進め、周知方法を徹底します。



長谷川る美 議員

問 不登校対策について

答 連携体制も構築しサポートします

問 小学校でも、別室登校専用の場所の確保と専任の先生の配置については。

答 学び支援教室の拡充を県に働きかけています。

問 支援における教員等の配置については。

答 独自に特別支援教育支援員等を配置し支援に努めています。

問 西成田教室での、コミュニティセッションスキル育成のための取り組みは。

答 全教職員が全生徒に関わりながら支援し、地域の方々との交流や活動を通して、社会性やコミュニケーションスキルの育成に努めます。



問 成田東公園に大型遊具等の設置を

答 中長期的見方で検討してまいります

問 成田東公園への大型

遊具の設置は、図書館等複合施設との一体化による相乗効果があると思いますが。

答 図書館等複合施設オープン後、事業効果分析調査を実施し検証していきます。

問 高齢の方も体を動かせる健康遊具の設置は。

答 地域要望をしっかりと聞き取り、幅広い世代の利用者に親しんでいただける公園遊具の設置を行ってまいります。

問 インクルーシブ遊具

の設置は。

答 公園の遊具交換や改築などのタイミングでバリアフリー化とともにインクルーシブの視点に沿った公園づくりを考えたいきます。

問 大郷町にある「郷ランド」は道の駅が向かい側にあるため、利用者にとつての選択肢の一つとして相乗効果をもたらしています。

図書館等複合施設と成田東公園への遊具設置す

問 図書館分館の方向性は

答 充実したものにしていきたいきます

問 地区の特徴、特性を生かして進めて行くべきと思います。

答 センター館の整備に併せて分館もサービスの水準を引き上げ、分館を

ることでもリピーターを獲得できる効果だけではなく、成田地区にある商業施設等への波及効果を期待でき、新たな本市の文化を作り上げることなると思いますが、見解は。

答 成田東公園は近隣公園であり、公園機能や公園の位置など広域的な利用環境の整備は行っていないため、「郷ランド」のような効果や機能をもたらすことは難しいものと考えられます。

利用される方のニーズを細かく把握する中で、分館の蔵書やサービスもより使いやすくニーズに合ったものに改善していくことを想定しています。



畑山 和晴 議員

問 任意予防接種推進の考えは

答 慎重な判断が必要であると考え

日本の予防接種制度での任意接種は、自治体の補助がない限り、全額が自己負担になります。

任意接種でも、希望すれば接種できる環境が必要です。

問 市として任意予防接種の推進をどのように考えていますか。

答 副反応による健康被害のリスクおよび補償制度など考慮すると、より慎重な判断が必要であると考えています。

問 带状疱疹およびおたふく風邪ワクチンの接種

助成の考えは。

答 国の審議会において定期予防接種化に向け、有効性、安全性および費用対効果について議論が

行われています。

市としては、ワクチン接種の有効性を認識していることから、今後も継続して国に早期定期化を要望してまいります。



渡邊 清美 議員

問 多子家庭の減免拡大の考えは

答 当面はこれまでどおりで

共働き、ひとり親等の増加で、児童の放課後の過ごし方が年々変わってきており、放課後児童クラブの必要性が高まっています。

問 待機児童の状況と、対応、受け入れ体制の強化が必要では。

答 年度途中で申し込まれた、9人が待機となっており、委託先と受け入れ調整を行い、待機児童の解消に努めています。

問 多子家庭に対する利用料金の減免拡大の考えは。

答 第2子目以降の利用料を半額としており、当面はこれまで通り実施していく考えです。



▲ あけの平小学校児童クラブ

問 地下鉄整備構想の断念を

答 調査検討を進めています

市民は、本市の将来を見据え、実現性に乏しい地下鉄延伸構想の旗を降ろし、身近な施策の拡充と加速を望んでいます。

調査検討内容が報道されるたび、厳しい経営環境の仙台市地下鉄が泉区西部地区でなく、隣接自治体の本市に延ばすのかなどの市民対応に苦慮しているとも聞いています。

本市が地下鉄延伸を望んでも、実現可能性は限りなくゼロに近いと言わざるを得ません。



問 仙台市からの具体の意見とは。

答 車両費の不足、新駅に交通結節施設の整備、民間路線バスへの補償費が必要などです。

問 今までの調査に入っていないのですか。

答 昨年度までの調査には入っていません。

問 来年度の調査内容と調査費は。

答 正式決定してから協議します

病院誘致に関しては、土地の無償提供、シャトルバスの運行、運営支援など、巨額の支援を表明していますが、本市の標準財政規模から、過大な財政支出ではないかと、きわめて強い懸念を持っています。



若生 英俊 議員

答 調査はしますが、予算と内容は検討中です。

問 令和3年度の泉中央駅の乗客数は2万565人ですか。

答 令和3年度の乗客数は確認していません。

問 新たな駅での乗客数は。

答 乗降客数を1万4000人と想定しています。

問 病院誘致に伴う本市の財政負担額は。

答 一定程度の財政負担が生じ、運営支援の額については、検討します。

問 病院誘致に伴う市民サービスへの影響は。

答 全く影響はありません。

問 図書館の面積拡充は

答 図書スペース拡大の可能性も

図書館建設について、令和4年9月議会でも都市構造再編集集中支援事業交付金が活用できる可能性が説明されました。2分の1の国費充当により、これまでの想定が大きく変わります。元々は、整備費として約18億円、想定収入の交付金で約3億円でした。

問 建設予算の交付金交付額試算の想定額は。

答 約17億5000万円が対象で、最大50%を見込んでいます。

問 なぜ再検討が必要かという点、市が試算しているよりも間違いなく来館者数は多くなります。視察したさまざまな図書館で来館者数は想定1.5〜3倍でした。ワクワクする内容ですが、想定よりも人がくる場合に狭いと思います。少しでも増やせませんか。

答 今回2回のワークショップで、図書館、スィーツステーション、児童屋内遊戯施設、成田公

問 50%で約8億7500万円、約5億8000万円の図書館面積は、限られた予算で1700㎡と決められており、検討が必須では。

答 国の補助金が増える想定は事実です。現在は、基本方針の総事業費で整備を進める考えです。

問 なぜ再検討が必要かという点、市が試算しているよりも間違いなく来館者数は多くなります。視察したさまざまな図書館で来館者数は想定1.5〜3倍でした。ワクワクする内容ですが、想定よりも人がくる場合に狭いと思います。少しでも増やせませんか。

答 今回2回のワークショップで、図書館、スィーツステーション、児童屋内遊戯施設、成田公

民館、4つの機能を融合することで図書スペースはまた広がる可能性も出てくると思っています。ワークショップで市民の皆さんの声を聞きながらより良いものにしていきたいと考えています。



藤原 峻 議員

問 児童屋内遊戯施設と図書館の空間的連動があり、音の問題が想定されますが。

答 音環境の設計については十分に留意する必要がありますと認識しています。

問 読み聞かせの、下から音が来ないのか、対策は。

答 設計案では吹き抜けになっていましたが、静かな環境も確保する形で考えていきたいと思っています。

民館、4つの機能を融合することで図書スペースはまた広がる可能性も出てくると思っています。ワークショップで市民の皆さんの声を聞きながらより良いものにしていきたいと考えています。

問 学校給食費無償化を問う

答 負担軽減等で今回の方針を決定

小中学校の学校給食費の無償化を令和5年4月から実施するとの発表がありました。物価高騰等により子育て世帯の経済的負担軽減等により行う

通学している児童生徒への対応は。

答 ご質問いただきましたし、進めていきます。



安住 稔幸 議員

問 妊婦への全戸個別面談や訪問は

答 個別面談等を充実していきます

費の保護者負担軽減を一般質問で取り上げてい

国の令和4年度第2次補正予算で、妊娠前から

答 母子健康手帳交付の際の個別面談等を充実させていきます。また、交

「本当に助かる」などの声を聞いています。
問 食物アレルギーなどにより弁当を持参している、特別支援学校に通学している、私立の学校に

の伴走型相談支援と、妊娠・出産時に計10万円を給付する経済的支援を一体的に行う、出産・子育て応援交付金事業が計上

に即した必要な支援につなぐ伴走型相談支援と経済的支援を、一体的に実施できるよう努めます。

また、13歳未満児のインフルエンザワクチンは2回接種で、保護者の負担が大変大きいです。

問 インフルエンザワクチンの13歳未満児への接種費用の助成は。

問 伴走型相談支援として、妊婦への全戸個別面

答 緊急的な措置として、中学3年生まで、一部助成の実施に向けて準備を進めています。



談や訪問の実施とともに、商品券等の支援金支給は。

問 市長2期目の実績と今後は

答 病院誘致、地下鉄延伸実現を目指す

市民の声に誠実に、未来を見据えた市政運営が望まれます。

で募集要項関連の墓地関連条例を上程予定です。

なかでも、多くの市民が期待する総合病院誘致と泉中央駅から明石台までの地下鉄延伸は、さらなる推進が望まれます。

問 泉中央駅から明石台までの地下鉄延伸実現の可能性は。

問 待機児童ゼロに向け、明石台の子育て世帯増加への対応は。

答 建設計画や採算性の信頼度を高め、事業化に向けた調査を継続します。

答 令和5年度から実現を目指す子ども医療費初診料無料化の詳細は。

答 施設側と協議し、案内できるように努めます。

問 総合病院誘致の取り組み状況は。

問 令和5年度から実現を目指す子ども医療費初診料無料化の詳細は。

問 東向陽台小学校の放課後児童クラブ棟建替への検討状況は。

答 県や関係機関による協議の状況を注視しながら、今後も誘致に向け積極的に取り組みます。

答 現在の一部負担金、外来時初診500円、入院10日を限度として1日当たり500円および入院時食事療養費の半額負担

答 令和6年度中に建築をして、令和7年度当初から利用開始の予定です。

問 公営墓地募集時期は。

答 令和5年6月定例会

問 市民図書館等複合施設整備を問う

答 幅広い来館者の利用を検討する

問 図書館の夜間利用が望まれますが。

問 館内に一時預かり保育室が望まれますが。

答 午前9時から午後9時まで開館予定です。

答 計画にはありませんが、議員の提案を参考に検討します。



▲ 東北労災病院 県立精神医療センター



塩田 智明 議員

よりよいまちづくりのために

調査しました

(10月～11月実施)

「DX推進」の取り組みについて 渋川DX推進方針を策定し 市民への行政サービス向上

調査先：群馬県 渋川市

◎調査日 10月27日
渋川市では、国において策定された「自治体デジタルトランスフォーメーション推進計画」に基づき、DXの推進に取り組んでおり、行政サービスの向上、事業の効率化等を図る「渋川DX推進方針」が策定されています。

行政手続きのオンライン化、簡素化等により事務の効率化が図られ、市民への行政サービスの向上に努めています。「誰一人取り残さない人に優しいデジタル化」は市民全員が行政の主役との考えかたで、大変重要な視点だと思えます。



〈その他の調査先〉

◎調査日 10月28日 栃木県 宇都宮市
宇都宮LRTについて

公開事業見直し 「入間(いるま)ドック」について 市民を交えた事業見直しで 様々な効果を期待

調査先：埼玉県 入間市

◎調査日 10月26日
「入間(いるま)ドック」とは、無作為に抽出した市民である市民判定人、外部有識者等により事務事業の見直しを図る事業で、令和3年度から実施されています。これまで事務事業の評価は職員が行い、外部評価がなされていませんでした。

本事業の実施により事業の最適化、職員の意識改革、資質向上、市民の皆さまが市政へ参加することにより、当事者意識を持つ等、多方面に渡りさまざまな効果が期待できると思われます。



総務常任委員会

※市の財政、市税、防災、まちづくり、環境衛生等について調査や審査をします。

議案審査

一般質問

委員会活動

教育民生常任委員会

※教育、子育て、福祉、健康保険、介護保険等について調査や審査をします。

図書館を中心とした大和市文化創造拠点の取り組みについて 飲み物と一緒に本を楽しめる 新しい図書館

調査先：神奈川県 大和市
文化創造拠点シリウス



◎調査日 10月26日

大和市にある文化創造拠点シリウスは、1階に併設されているカフェを含め、館内のどこでもおしゃべりや飲み物と一緒に本を楽しむことができ、静かに本を読むコーナーもエリアを分けて設置しています。全ての蔵書にICタグ

が付けられており、各階に自動貸出機とセルフ利用の図書除菌機が設置されています。人手を介さない貸し出し、返却は、職員の負担軽減や新型コロナウイルスへの対応という観点においても、大変良いシステムだと感じました。本市が整備を進めてい

る図書館等複合施設においても、複合施設の機能や運営、各公民館図書室等との連携について、あらゆる角度から十分に協議して進めていくことを求めます。

日本初の不登校特例校「高尾山学園」の教育活動について 充実した教職員体制 学習支援で成果

調査先：東京都 八王子市
八王子市立高尾山学園



〈その他の調査先〉

◎調査日 10月28日 東京都立砧公園(みんなの広場)
障がいのある子も楽しめる公園を整備

◎調査日 10月27日
平成16年4月に日本初の不登校特例校として開校した、八王子市立高尾山学園を視察しました。この学園では、「この学園の安定を図る」、「学習支援の充実」を基本理念に掲げ、正規の学校教職員ほか、体験活動のための講師などが、児童生徒

の個の特性を理解し、個別指導をしています。卒業後の進学率は95%以上で、その後も追跡調査を行っており、1年後の高校在籍率は85%以上ということです。高い進学率や、その後の退学者が少ないことは、高尾山学園の「この学園の安定」

を図り、学習支援の成果であると感じました。本市の不登校特例校西成田教室においても、今後に向けて議論を深めていくとともに、関わる先生、職員の方々の視察研修の必要性を感じます。

観光物産拠点施設 整備事業について 地域ブランドや 認証品の厳選

調査先：埼玉県 越谷市
環境経済部 経済振興課



◎調査日 11月16日

観光施設には、市内で採れた野菜や果物、お土産品等を販売する特産品施設が必要です。

越谷をアピールする「食する・持ち帰る・体験する」などを前面に押し出し、地方創生の考えから市の魅力を内外に発信しており、観光物産拠点「ガーヤちゃんの蔵

屋敷」事業に取り組み、成果をあげています。

最大のポイントは、日光街道の「越ヶ谷宿」を再現した施設で、越谷を楽しみながら、越谷の魅力に触れられる事です。

今後は、「とみやど」でしか買えないもの「とみやブランド」・「とみや認証品」を厳選し、市内

農家で栽培した地場産品を販売すると同時に、観光客にも楽しんでいただきながら、富谷の魅力を内外に発信し、活性化に取り組みること、オリジナルティと希少価値を合わせ持った商品開発が、地域商社には期待されています。

◎調査日 11月17日

アグリビジネスパーク事業 について

農業や観光・レクリエーションの 振興による環境と交流の地域づくり

調査先：千葉県 柏市
経済産業課 農政課



柏市は、合併による市街地エリアと、自然環境を併せ持つ幅広い土地活用が可能となる「ビジネスパーク構想」を立ち上げ、農業観光とレクリエーション振興による、活性化の拠点整備として、「ブランドデザイン」を描きました。

特に「道の駅」につい

ては、年間160万人の来場者があり、農産物や加工品の直売所、レストラン、カフェ、レンタルサイクル等、さらには、遊歩道や温泉施設、キャンプ場、フィッシングセンターなどアクティビティスポットが充実しており、幅広い世代に「ゆとり」を満喫させる施設

となっております。本市としても、農業を主体とした観光振興にとどまらず、農と食・遊を生み出す自然・歴史・文化という幅広い枠で、地域を周遊させながら交流人口を増やすための施設整備が必要です。

意見書

学校給食費の無償化を求める意見書

学校給食は、学校給食法第1条に「食育の推進」が、その役割と目的として規定されており、教育活動の一環である。

また、学校給食の持つ教育的効果に加え、栄養バランスのとれた温かくおいしい給食を、家庭の経済状況にかかわらず提供することは、子供の健やかな成長のため非常に重要である。

学校給食の経費負担は、実施に必要な施設及び設備に要する経費と、その運営に要する経費は、設置者の負担と位置づけられているが、それ以外の経費は保護者の負担となっている。この保護者負担である学校給食費は、年額5～6万円と保護者が学校に納める納付金の中で最も高額であることから、貧困対策はもとより、子育て支援・少子化対策として、小中学校の給食費を全額補助または一部補助する市町村も増えてきている。

しかしながら、給食費の無償化は人件費や消費税、高騰する材料及び燃料費などによって、市町村財政を圧迫するなどの懸念が生じる可能性があり、解決すべき問題も多く、実施に踏み切れない市町村も少なくない。

よって、こうした状況に鑑み、全ての市町村が学校給食費の無償化を実施できるよう国の責任における財源の確保を強く要望する。

提出先 内閣総理大臣ほか

富谷市議会

陳情書

●最低賃金の改善と中小企業支援の拡充を求める政府に対する意見書採択を求める陳情書の提出について
宮城県春闘共闘会議 代表幹事 高橋 正行

●「消費税インボイス制度(適格請求書等保存方式)実施延期を求める意見書」提出についての陳情書
仙台民主商工会 会長 三戸部尚一

全て議員配付となりました。

請願と陳情の提出方法

市が行うことに関して意見や要望がある場合、請願書や陳情書を提出することができます。

●請願書

請願書を提出する場合は、市議会議員の紹介が必要になります。請願書が提出されると、本会議で議長が所管事項に該当する委員会へ付託し、委員会で審査した後、本会議で採択や不採択、または保留を決定します。その結果は、請願者に通知されます。

また、採択した請願について議会が認めた場合は、執行機関ほか関係機関に処理の経過と結果の報告を求めることとなります。

●陳情書

陳情書を提出する場合は、市議会議員の紹介は不要です。陳情書は議員に配付されます。

請願書・陳情書について、詳しくは富谷市議会HPをご覧ください。

開かれた議会を目指し議会報告会を開催します

日時 令和5年3月25日(土) 午後2時開会
会場 成田公民館



◆皆さんの参加をお待ちしています。

◆新型コロナウイルス感染症の感染状況により、延期や中止する場合があります。

議員全員協議会を開催しました

令和4年10月21日

- (1) 提出予定議案等に関する案件
 - ① 令和4年度富谷市一般会計補正予算(第7号)
- (2) 提出予定議案以外で説明を要する案件
 - ① 令和4年度富谷宿観光交流ステーションマルシェ 広場屋根設置工事について
 - ② 学校給食費の取扱いについて
- (3) その他

令和4年11月22日

- (1) 提出予定議案等に関する案件
 - ① 令和4年度富谷市一般会計補正予算(第8号)
 - ② 令和4年度富谷市市営墓地特別会計補正予算(第1号)
 - ③ 令和4年度富谷市国民健康保険特別会計補正予算(第3号)
 - ④ 令和4年度富谷市介護保険特別会計補正予算(第3号)

- ⑤ 令和4年度富谷市下水道事業会計補正予算(第3号)
 - ⑥ 令和4年度富谷市水道事業会計補正予算(第2号)
 - ⑦ 教育委員会委員の任命につき同意を求めることについて
- (2) 提出予定議案以外で説明を要する案件
 - ① 富谷市地方創生総合戦略の取組状況について
 - ② 市道穀田三ノ関線道路改良事業の進捗状況について
 - ③ 市道三ノ関大崎線道路改良事業の進捗状況について
 - (3) その他

令和4年12月7日

- (1) 追加提出予定議案等に関する案件
 - ① 令和4年度富谷市一般会計補正予算(第9号)
- (2) その他
 - ① 学校給食費の無償化を求める意見書について

人事

教育委員に

武田 泉さん(成田)

教育委員の任期満了に伴い、市長より同意を求められ、全会一致で可決しました。任期は4年間です。

議会活性化
調査特別委員会

市民に信頼され、開かれた議会、市民の負託に応えられる議会を目指し、調査をします。

11月22日

【議会活性化調査特別委員会】

- ・議員研修について
- ・人権擁護
- ・インボイス制度
- ・その他

11月30日

【議会活性化調査小委員会】

- ・「富谷市公募型プロポーザル方式に係る契約ガイドライン」の配付について
- ・その他

12月2日

【議会報告会小委員会】

- ・議会活性化調査小委員会における協議決定事項の確認
- ・議会報告会開催の周知方法について
- ・とみや議会だよりおよび市広報紙に掲載
- ・市ホームページ
- ・チラシの毎戸配布(市広報紙3月号配布時)
- ・その他

12月7日

【議会活性化調査特別委員会】

- ・個人情報保護条例について
 - ・小委員会での協議事項について
 - ・「富谷市公募型プロポーザル方式に係る契約ガイドライン」の配付について
 - ・その他
- 令和5年議会報告会
開催日時、開催場所

富谷市議会録画配信URL

<https://tomiya-city.stream.jfit.co.jp>

富谷市議会インターネット

検索



次回の定例会は
2月下旬開会予定です。

詳しくは議会事務局へ
お問い合わせください。

TEL 022-358-0622



未来へはばだけ とみやっ子 ひより台幼稚園



ピンクの園舎やバスの、楽しく明るい幼稚園です。いつも笑い声や優しい歌声が響き渡っています。幼稚園という「社会」で、自立し、友だちという存在を知り、人間関係を学んでいく。そんな風に育ってほしいことを教育目標に掲げ、一人ひとりにとって「居心地の良い空間」を幼稚園の中に見つけてあげたいと思っています。



自由遊びでは、すぐに園庭で遊びます。幼児期にしっかり友だちと遊ぶことで、円滑な人間関係を築く能力が身につくと考えているからです。遊び以外でもプールや英語教室など全ての活動で「楽しい」「出来た」という達成感を味わい、自信を深めることで、自然と自ら伸びる子どもに育ちます。

園児が卒園するとき「幼稚園は楽しかった」と感じ、さらに大人になったときに「ひより台幼稚園で良かった」と懐かしみ、誇りに思える園になるように努めています。

<表紙紹介>

富谷から望む泉ヶ岳

雪をかぶってうさぎ色に染まった泉ヶ岳です。本年は卯年。皆さまにとって健康で飛躍の年になりますように。

継続の源はみんなの笑顔

永野憲子さん(明石台)

富谷市には6人の主任児童委員がいます。私はその中の一人です。民生委員・児童委員でもあり主に児童に関わり見守りなどを行っています。学校・家庭・地域の連携を大切にそれぞれを繋ぐ手助けを第一に活動しています。コロナ禍で学校に足を運ぶ事も減る中、登下校時の声掛けでは逆に子供たちから元気もらっています。そんな時はこの活動を続けて良かったなあ、と心から思います。

みんなの広場



私には他に長年続けている事があってそれは絵手紙と雀踊りです。`継続は力、と言いますが落ち込む事も多く`ヘタでいいヘタがいい、と始めた絵手紙でさえ思うように描けないとやはり凹みます。又、笛担当の雀踊りではドキドキして音が出ない時は辛く、地域の活動に関わる時は尚更です。それでも私がここまで続けられているのはひとえに支えてくれるみんなの笑顔があったからで更なる意欲にも繋がってきました。これからも皆様から元気を頂きながら日々精進(笑進)しようと思っています。

編集後記

先日、スーパーでお買い物中の女性から「議会でより見たよ。」と、声をかけていただきました。とてもうれしかったです。これからも親しまれる議会だよりの発行に努めます。

市議会では、3月25日に議会報告会を開催予定です。3年ぶりとなる対面での報告会の詳細は、ホームページやチラシでお知らせします。感染予防対策をしっかり行い開催します。多くの方の参加をお待ちしております。

広報委員 塩田 智明